



するとここから派生して、「地縁」の先には、「**地域コミュニティ**」があり、そこから、**友だち近居**



**や防災マップ、ボランティア**……など、今回の懇談会でも議論されたテーマがつながってくる。

私たちが得意とする「おひとりさま」が老後、地域と協調してどう過ごすか、といった問題も浮かんできます。

また、「知縁」から派生する、「**バーチャルゆるつながり**」。

血だけではなく、バーチャルの

「知」における「ゆるつながり」が大事だよということになると、例えば、じゃあ **SNSをどうするか、マイナンバーをどうするか、国として監視社会とセキュリティをどう考えるべきなのか**……など、これも懇談会のテーマにつながってくる。「**学び人脈**」の先の、**若者起業やダイバーシティ、農業イノベーション**などについても同様です。

あるいはシニアの問題も、「知縁」や「地縁」に関わってくる。

私は「**WinWin シニア**」を、一つのキーワードに据えました。すなわち彼らの老後を、国が支えて差し上げるとか、国からなにかをお払いする、という一方的な目線だけではなく、まだまだ **若く元気で動き続けたい、60歳を過ぎて起業したい、または「自立型」の高齢者向けシェアハウスに住みたい**、そういった方々と、お互い WinWin の関係が築けないか、もっとシニア同士の、あるいはシニアと社会の「相互扶助」も念頭に置くべきでは、といった目線です。

■ なにごとも「自分ごと」として捉えられる！

こうして見てくると、じつは今回の懇談会のあらゆるテーマが、私たちの得意分野からの派生事項として考えられることが分かってきました。

そう、**なにごとも「自分ごと」として捉える大切さ**を、今回痛感したのです。

ただ、**やり残したことも2つ**あります。

1つは今回、中央(都心の中央官庁)を場として物事を考えてきたので、**地方の声を拾いきれていない**、ということです。

もちろん、海外や地方の声を拾っていらっしゃる様々な有識者の方のご意見も伺いましたが、やはり私自身、全国各地で直接いろんな方々の声を聞く、というのが仕事であり、使命でもあ

ります。今後はもう少し全国の皆さまと(インターネット越しにでも)深くやりとりをして、どう政策が必要なのか、いまの国や行政にはどんなところが足りていないのか、というお悩み、ナマの声を聞きたい、と強く感じました。

そして、もう1つ。

今回の懇談会では、これからの実行段階でたぶん一番のテーマになる、「**どこまでを国や行政が担当するのか」「民間や NPO と協業するのか**」、あるいは「**何を、いつまでにどう実行するのか**」という、**仕分けやプライオリティ(優先順位)**を、まだ話し合っていないんですね。

「こういう方向性が良いのでは？」といったアイデアは、本当にいろいろと出てきたんですが、そのうちどこまでを、いつ誰がやるのか、そこがまだない。

つまり、「引越し」に例えると、「あの建物がいいかもしれない」「この沿線がいいんじゃないか」というプランは、すでに多くあるのですが、「でも予算がこれしかないから、駅からもうちょっと遠くないとダメですね」とか、「〇月×日に引越すから、いつまでに、誰に何をお願いしないとダメだよな」という、現実に即したところまでは、まだたどり着けていない。

そのあたりの、**現実的に地に足が着いた議論**が、今後確実に必要になってくるでしょう。

■ 今後は、地方や一般の方々との対話を通じて……

ただそのうえで、やっぱり私たちメンバーだけの「知」では弱い。

今後は、**一般の方々ともっともっとやり取りして、現実に即したプランを作り上げて行きたい**、というのが個人的な希望です。そこが今回、やり残した部分でもあります。

とくに、これからの日本を考える上で、地方の問題は深刻です。

先日も報道されたとおり、2040年には約半数の自治体で、20代、30代の若い女性の人口が、いまの半数にまで減ってしまう。そのあたりの問題をどう捉えていくか。**地方の雇用創出や改善、あるいは地元に残りたいのに出なければいけない人たちの人口流出**、こういう人々をどうやって地元に戻していくか、本当の「幸せの道」というものをプレゼントしていくか。それが、これからの私たちの大きな使命であり、今後ぜひ重点的に話し合ってみたく感じたテーマです。

……以上、どうもありがとうございました。

◆今後の日本◆ **アイドルグループのように、一人ひとりが個として「ソコ活動」をするときもあれば、知縁や地縁で「ユニット」を組むこともある** =「**コラボ型共創社会**」へ……？  
～**アイドルや選手本人はもちろん、ファンやサポーター全員が担い手!**～